

しかはま自然観察会 <h1 style="font-size: 2em;">のらえもん</h1> 『人も 自然も みんなともだち !』No.2	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2017, 4, 29~30
--	---

第2回活動 のらえもん自然塾

「早春の里山散策、星空観察、古民家宿泊体験」
 ストープの回りで手をかざし、鍋の様子を眺めたり
 話したり、煙突の白い煙は田んぼや山々の風景を引
 き連れていく。

4回目の古民家生活。

1, 日 時: 2017年月 4月 29(土)~30(日) 1泊2日

2, 天 気: 晴れ→曇り→雨

気温・・・朝方1℃まで下がる、霜がおりていた。

3, 交 通: ○現地集合

4. 場 所: ○みなかみ町藤原一畝田の 古民家

5, 参加者: 総数 6人

内訳 家族2	大 人	2
	中学生	0
	小学生	2
	幼 児	0
	スタッフ	2
	合 計	6

6, 活動の様子

○ 大峰山の事前調査

この山の利用はどうだろうか、と下調べにきた。大峰沼までは広い道であるが、手入れはされていないようだった。湖畔のトイレや管理棟も荒れっぱなしで、モッタイナイ気がした。登り口手前の湿地帯にはミズバショウ・ザゼンソウ・ショウジョウバカマが咲いていた。道すがら、アズマイチゲ・カタクリ・エンレイソウ・ツルリンドウが咲きウグイス・ヤマガラ・ホオジロ・キツツキが鳴いていた。

6月頃の様子はわからないが、駅から遠いこと・湖畔が荒れていることを考えると、のらえもんとしての利用は適切ではないことがわかった。

○ 囲炉裏の回りのカーテン張り

古民家に着くと、防寒対策に、移動式囲炉裏の回りをカーテンで囲うことにした。工夫しながらなんとか出来上がったが、天井は隙間だらけで、ときどき黒いゴミが落ちてくる。布団を置いてある床の間の脇も穴だらけだ。これでは、野生動物(ネズミ・ヘビ・イタチ・ハクビシン)などに住み着かれてしまいそうだ。現に、布団の中には動物の糞がいくつかあった。

それでも、カーテンで囲まれた囲炉裏には暖かさと安心感がある。夕食を食べたり、とりとめのない語らいは、気持ちを和ませてくれる。

○ 阿部さんからの差し入れ

しそ種の漬物・梅干し入り海苔巻き・ふきみそ入り海苔巻き・干し柿をいただいた。阿部さんも囲炉裏を囲んでくれ、いろいろ地元の話しをしてくれた。その中で、押し花師の林ふみ子さんは、風呂場で倒れたという。道理で私が出した年賀の返事が来ないはずだ。いつもなら、すばらしい押し花の絵をつけて、さらに一句つけて返ってきたのに……。合掌。

○ 寒い！

翌朝、春日さんの車の上には白いものが……。気温1℃、霜が降りたようだ。ストーブに火を起こし、ラジオ体操をしてから、釣りに出かける。途中、のど元が黄橙ぽいキビタキに出会う。なんか、いいことがあるそう！しかし、岩魚は1匹だけ。

散歩の後は、ストーブの回りで暖をとる。田んぼや遠くの間々から、ところどころの桜のピンクが飛び込んで来る。野鳥の囀り、青い空に白い雲、太陽による日向と日影、水仙の黄色、アサツキの緑、キクザキイチゲの白。ゆっくり、のんびり、時間が過ぎていく。

○ 帰り支度は一番重要だ！

● その1、火の始末

囲炉裏やストーブの残り火の始末。

● その2、食器・鍋の洗いと保管

食器は水切りをし、冷蔵庫に保管

● その3、トイレとフローアの掃除

汚れは徹底的にとる。飛ぶ鳥後を汚さず。

● その4、水栓の元を締める

裏口のすぐのところにある。

● その5、電源を切る

玄関を入った左側にある。

● その6、玄関を閉める

玄関を閉め、さらに外側から垂木でつかえ棒を。

7、親と子の、いきいき感想

○まきわり、できるようになりました。

火おこし、たのしかったです。

つりも、たのしかったです。

ごはん、おいしかったです。

つりしてて つりばりささって 手がいたい

鹿浜五色桜小6年

○木を、おのでわるのが、たのしかった。

つりは、つれなかったけど、たのしかった。

火あそびも、たのしかった。

木をわって コツをつかんで たのしかった

鹿浜西小5年